

# 2004 第三回会社訪問

10月20日 於 ナルックス株式会社

(株)最上インクス 鈴木 滋朗

今回の会社訪問は、ナルックス様を訪問しました。通常会社訪問は、会員企業を訪問するのですが、今回は何か刺激を求め会員外の会社訪問を企画した。今回の会社訪問にあたりナルックス様を選定させていただいた理由として幾つかの理由があったがまず、今後我々が経営者として企業経営して行く上で最も重要な‘自立する’を考えた時、ナルックス様が今後の中小企業の有り方を、見て・感じれる企業であり、光関係のレンズ開発から加工までされる、業界でも非常に有名で、我々とは分野は違いますが、技術をコアに経営されており、独自の加工技術・製品等の開発と、自分たちの強みを明確にされ、業績を伸ばされている企業様であることも選定の大きな要素でした。

会社訪問の当日は、近畿地方に大型台風が直撃している中、会社を訪問させて頂いた。悪天候にもかかわらず、北川社長様には、快く訪問受けて頂き、また機青連からも18名という多数の参加を頂いた。

当日は、まず北川社長様に、企業ビジョンを中心にお話頂いた。お話は会社の歴史から今日の企業活動の変化と、ナルックス様の現在とこれからの企業ビジョンについてお話頂いた。お話の中でも特に、非常に参考になったのは、企業経営の中でも重要な自分たちの自社の強み（事業の使命・顧客・価値）を明確にされており、そこに経営資源を集中する事を実行されている点は、日常の事に没頭している私たちには、考えさせられる貴重なお話でした。

北川社長様のお話のあと、開発・設計関係と製造関係を中心に工場見学させて頂いた。開発・設計部門を見せていただき、感じたのはナノ技術を支えるコア技術の凄さである。勘・経験・度胸ではなく、過去の技術ノウハウを裏付けとして、シュミレーションをPCでやられておられ、今後の日本の製造業の有るべき姿ではないかと感じた。生産工場は、すべてクリーンルームで、高精度の製品を作り出す環境と設備があり、開発・設計部門同様に、人の経験頼るのではなく、設備・ノウハウ・管理によって効率よく生産されており半導体の生産工場を見ているようでした。

今回ナルックス様を訪問させて頂き、参加メンバーの方にも大きな刺激を受けて頂けたと思います。何より、自分たちが自立し、自ら主体的経営する面白さと必要を、聞いて・見て・感じられたと思います。次回また機会があれば、刺激を求め色々な企業訪問の企画をしたいと思います。

